



研究部会報告

● 食料・環境問題における数理的手法研究部会 ●

・第1回

日時：5月13日(金) 13:00~16:00

出席者：10名

場所：農事組合法人 酒人ふぁ～む

テーマと講師：

「激変する農業情勢にかく挑む」

福西義幸（農事組合法人酒人ふぁ～む 理事総務部長）

概要：滋賀県甲賀市の集落「酒人」では、集落内の個々の農家から農地の提供を受け、比較的大きな圃場を整備し、大型農業機械の導入による農作業の効率化をはかっている。地域活性化、労働力不足等の問題を併せて解決すべく立ち上げられた農事組合法人「酒人ふぁ～む」の取り組みについて説明を受け、今後の展開等を議論した。

● 待ち行列 ●

「第1回学生・初学者のための待ち行列チュートリアル」

日時：6月18日(土) 13:00~17:15

出席者：72名

場所：東京工業大学大岡山キャンパス 西8号館 (E)10階大会議室

概要：講演は3題。滝根哲哉氏（大阪大教授）「 $M/M/1$ を越えて」は、よく知られた $M/M/1$ の概要と出生死滅過程としてのモデル化を足がかりに、その拡張である準出生死滅過程を導入したより一般的な待ち行列の解説であった。宮沢政清氏（東京理科大教授）「ネットワークの性能評価」は、単純な待ち行列ネットワークで直感的な安定条件が成立しない例に始まり、一般的な安定条件を得ることの困難さ、安定性条件を導くための理論的概要の解説、未解決問題の紹介などが報告された。三好直人氏（東京工大助教授）「知っているとちょっと得する(?) 確率順序とその応用」は、確率順序に関する定義から始まり、待ち行列を含むさまざまな応用事例についての解説であった。